

日 時：平成 28 年 10 月 27 日（木）18 時 30 分 ～20 時 00 分

場 所：小国コミュニティセンター

対象地区：小国

参加人数：13 名

■要望、質疑応答

| 内 容 |
|---|
| <p>○川に生えている柳の木について (市民からの要望、意見) 小国の川に柳の木があるが、川の水位が上がって倒れると橋まで影響すると思う。どうかにならないものか。</p> <p>(市の回答) ・河川を管理している県に要望を出している。トンネル手前の橋の所の雑木に関しては、来年、県の方で伐採してもらえることになっているので、もう少し待ついただければと思う。中洲の整理についても町会要望を受けて県に要望をしているが、県で管理している河川の数が多いこともあり、もう少し待ついただきたいということである。</p> |
| <p>○学校入り口の側溝にかかる蓋について (市民からの要望、意見) 旧小国小中学校の校庭の入り口にある U 字溝の蓋が上がったままになっている。道路なので蓋をかけるか、蓋を撤去するなりしてもらえないか。</p> <p>(市の回答) ・その蓋については、災害があったときに土砂等を撤去するためにあげておいたものである。町会の方で蓋が無くても支障がなくて、小国地区内に仮置きできる場所があれば市で移動させることも可能である。移動させた後で、万が一また蓋をかけたいなどということがあれば、その対応については町会にお任せする。</p> <p>(市民からの要望、意見) それならば、撤去していただければと思う。あそこは道路になっていて、車も頻繁に通る。撤去なら撤去、かけるならかけるとはっきりしてもらいたい。</p> <p>(市の回答) ・それであれば、平賀の資材置き場の方に運んで仮置きする。また設置したいとなれば対応するので、とりあえず年内中に資材置き場に持って行って市で管理する形にする。</p> <p>(市民からの要望、意見)</p> |

いつもその現場は確認しているが、人の手で除けられるようなものではない。かといってあの蓋を持って行ってしまっ、U字溝をそのままにしてしまえば、人が落ちたりすれば大変なことになると思っていた。あの蓋を除けて、いつでも取り外しできるような軽い蓋なんかをかけることはできないものか。

(市の回答)

- ・いつでも取り外せるような蓋の設置というのは困難である。軽い蓋を設置すると、既設U字溝の蓋受け部との厚みが合わなくなってしまう。

(市民からの要望、意見)

軽い蓋をかけるのが難しいようであれば、今あがっている蓋をかけてもらえばどうなるのか。災害などがあって土砂が溜まったりしなければいいが。

(市民からの要望、意見)

今は子供も少ないし、グラウンドに遊びに来る時も親と一緒に来たりしている。撤去してもいいのでは。

(市の回答)

- ・町会側でよろしいのであれば、年内中に撤去する方向で対応したい。取り外せる蓋については検討してみる。

○東部地区から市内中心部への交通網について

(市民からの要望、意見)

ここに住んでいて一番危機感を感じているのは、交通の流れはよくなったが、高齢化でその流れに乗れない人が大勢いるというところである。東部地区の人も中心部にスムーズに行けるような流れを作ってもらいたい。週に何回かでもいいのでバスを運行してもらえないか。

(市民からの要望、意見)

小国に住んで何年かなる。住みやすく、除雪もきっちりやられているし、黒石市とかに出るにしても30分で行けるので非常に良いと思っているが、これは自分で車を運転できればの話である。今後も、住み慣れた小国地区で暮らしたいと思うので、中心部へのバスの確保はぜひお願いしたい。黒石へのバスはあるが、非常に不便でお金がかかる。それと、碓ヶ関久吉地区と平賀地域間のバス運行を試験的にやっていたようだが、目的がわからない。碓ヶ関地域は商圈が弘前方面なのでは。利用状況を聞いてみたい。

(市の回答)

- ・昨年も要望があり、東部地区の住民の足の確保が必要だろうという話はしたがなかなかふさわしい手段が見当たらない状況である。この地区では普通に生活するにあたって、役所機能であれば支所があるし、通院なら病院のバスがあるだろう。となると、平川市

役所近辺まで行く用件はどんなことがあるだろうと検討したが、交通手段の確保に踏み切るようなところまではいかなかった。

- ・平賀地域へ接続するバスについては、小国地区だけでなく東部地区全体で考えていく必要があると思うので、これからももう少し検討をさせてもらいたい。
- ・平川市内でバスが走っていない地域での運行として、碓ヶ関地域と平賀地域との連結で試験運行をしている。久吉地区などにおいてはバス路線がないので、その地域の足を確保するために試験運行をしているものである。しかしながらその区間から平賀地域方面へ出ていく用事としては、ホームマックなどに買い物に行くくらいで、病院などに関しては弘前市方面へ出るようになるでしょうから今のところ利用状況は芳しくない。
- ・全国的には、地域住民の中でバス代行などの NPO 法人を設立して、運用をするというスタイルをとっている傾向がある。高齢化が進んで、運転がままならない人が増えている地域があるかと思うが、地域の中で当番を決めて高齢者の送迎をするなど、地域の力を借りて対策を進めていただきたいと考えている。

(市民からの要望、意見)

運転できる人に乗せてもらったりしたときに、万が一事故を起こしたりすれば乗せた人の責任になる。毎日同じ時間にバスを走らせてほしいとかではなく、週 2 回くらい、不定期でもよいので何か手段はないものか。

(市の意見)

- ・碓ヶ関平賀間のバス試験運行について、碓ヶ関地域の中だけで利用する人が多いのか、平賀地域まで来る人が多いのか検証してみなければならない。8 月 9 月の実績でいうと、1 日 4 便での利用者数が大体 8 から 9 人となっている。運行前にアンケートを取った際に、4 割くらいの人を利用するというので試験運行を始めたが、やはり 1 日 2 往復と限定された中だと利用する人が少ないのかなと感じている。
- ・東部地区においても、間もなく 2 人に 1 人が 65 歳以上になるので、交通手段が限られてくるので、対策を考えなければならないが、今すぐに必要かとなるともう少し検討していく必要があると考えている。東部地区全体からの要望が出て、なおかつ利活用の状況を把握したうえで対応をしていかなければならないかと思う。いつ策を打てるかとなると明言は難しいが、状況を把握して、最終的に困らないように考えていきたい。

○葛川診療所の維持について

(市民からの要望、意見)

葛川診療所だが、いつまでも医師を確保できるのか、運営を続けられるのかということもあるし、夜間は医師がいなくなるので利用できないわけである。診療所があるに越したことはないが、一つの考えとして、診療所をなくすとか、支所を縮小したりすることで経費が浮くのではないかと考えている。

(市の回答)

- ・一つのご意見として受け止めたい。

○選挙関連の取組について

(市民からの要望、意見)

7月の参院選で、ショッピングモールに投票所を設置して、全国的にみても素晴らしい取組であったと感じている。

その絡みであるが、昭和大合併のころから、温川地区、大木平地区は前日投票になっている。当時は投票の時に、歩いて半日かかるので前日投票していたという要因があったようである。今は車で40分もあれば着く。なんで温川だけ未だもって前日投票なのだろうという気持ちがある。温川、大木平の人たちが、選ぶ時間が短縮されてしまって、不公平にならないかと思う。

また、今度、田舎館の選挙があるが18歳以上20歳未満の票が211票あるとのことである。実際に何票入るかわからないが、そういった低年齢層の関心が少なくなっていると思う。平川市には高等学校が2つある。市外に通う生徒もいる。学校を卒業して、仕事についている人もいる。そういう人たちを集めて、選挙管理委員会などで懇談会をやってみてはどうかと思っている。

(市の回答)

- ・18歳～19歳の低年齢層への働きかけは、今選挙管理委員会でも行っている所である。平川市では他の市よりも低年齢層の投票率が高かったとは聞いている。ただ、全国平均より低いということで、これからも働きかけていく。
- ・今年度すでに4校で実施しているが、今後も小学校で模擬投票を行うなどして啓発に努めていく。
- ・共通投票所については、前例がない中、選挙管理委員会が連日連夜本当に苦労してやり遂げたところであり、評価している。共通投票のモデルについて他市町村から研究にきている。この取り組みが広がれば他市の投票率も上がっていくものと考えている。
- ・共通投票所に関して課題もあって、いつまで場所を貸してもらえるかという点と、パソコン等の設備を借りるのが45日前までに予約しなければならない、という点がある。衆議院の解散にかかる選挙だと、解散してから40日で選挙である。その辺のところを解決していかなければならないかと思うが、共通投票所の設置は続けていきたい。
- ・温川、大木平の前日投票に関しては、理由は今初めて聞いたが、おそらく今おっしゃっていた理由で続いているのだと思う。ただ、今回からの取り組みとして共通投票所の他に、出前の投票所も開設しており、大木平の公民館にも設置した。そういう取り組みもあって投票率が上がったので、これからも続けていきたい。
- ・低年齢層への意識づけに関しては、去年、今年と子ども議会を開催している。小さいうちから選挙に対する参加の意識づけをしていかなければならないということで、教育委員会と一緒にやりながら行っている。これからはもう少し年齢を上げて中学生あるいは

高校生との模擬議会などを行って、自分たちの一票で地域を変えることができるんだと感じられるような取り組みをしていきたい。

(市民からの要望、意見)

温川地区を当日投票にできないか。昔は、前の晩から泊まって投票していたということもあるのでわかるが、今は車で行けるし交通の便もいいわけだから、その辺は検討してもいいのではないかなと思う。

(市の回答)

・選挙管理委員会と相談して、差支えなければ当日投票にしていきたい。ただ、出前投票などはやっていくかもしれない。大木平、温川の方とも相談しなければならないが、選挙管理委員会にそういった意見があったということは伝えて、対処できるかどうか検討する。

(市民からの要望、意見)

小学生を対象に模擬議会をしているとのことだったが、身近に選挙が差し迫った17、18歳を対象にしたほうが効果的だと思う。クラスの中で『あの人はこういう考えだよ、この人はこういう考えだよ』と話し合う時間があればいいのでは。大学生や、社会人も集めて何か取り組みをしてもらえれば関心も持ってもらえると思う。

○市役所機能の整備について

(市民からの要望、意見)

合併して10年になるが、名前は平川市になったが何も変わらない。平川市庁舎を整備して、よその町村から来た人にここが平川市役所であるとわかるようにしてほしい。町会長会議をしていて思うが、町会同士が綱引きをしているように感じている。合併して一つの市になったという意識がないような気がする。市庁舎の整備をしっかりしてもらって、その後に地域の整備でも遅くないのかなと思う。

(市の回答)

・平川市になって10周年になるが、それぞれの地域の意識がまだ残っていると感じる。まちづくり懇談会をして話し合いをしているのも、それぞれの地域の意識をできるだけなくして、行政で一本化したいという考えのもとに実施しているという一面もある。

・10周年を機に市民歌も作ったし、様々な行事を通して市民の皆さんに、平川市の意識づけを行っていかねばならないと思っている。

・あと4、5年で新しい庁舎を作るような計画で動いている。今まで分かれていた分庁舎をまとめて、一か所に来れば大体の用事を足すことができ、階段の上り下りがなく、一つのフロアで用事を足せるような庁舎の建設を目指したい。

(市民からの要望、意見)

市役所そのものの機能をしっかりとしたものにしてほしい。私たちが一番行く建設部と農林課が尾上分庁舎にあるというのが納得いかない。

(市の回答)

- ・12月の議会の中では、どこの場所にどういう建て方でどういう規模で、というところまで決定できるかと思います。そのうえで、一つの建物の中に役所の機能を全部入れることができればいいが、財政の問題がある。オリンピックや震災復興の関係で建設単価が高騰している。

○学校の体育館裏市道のブロック塀について

(市民からの要望、意見)

学校の裏の市道部分のブロック塀が崩れてきていて危険なので直してもらえないか。

(市の回答)

- ・以前から町会要望が上がっていたところなので、現場も見せていただいている。来年度補修の実施に向けて検討している。予算獲得に努めていきたい。

(市民からの要望、意見)

今でも農作業車などが周辺を通行している。来年度以降直す見込みだといっても、それまでに事故などで崩れてきたらどうなるのか。

(市の回答)

- ・市の対応になる。早い段階で対処していきたい。コンクリート擁壁が垂直に建てられているので、山の方を切土させてもらうなど検討しながら来年実施に向けて動いていきたい。通行の際危険なので、擁壁側にバリケードを設置するなど安全対策も行う。

○廃校を利用したもやし栽培について

(市民からの要望、意見)

旧小中学校を利用して、そばもやしを栽培しているが、何年契約のものなのか。そばを小国で栽培していると聞いたが、地域の振興を図るにはそれも一つの手だと思う。

(市の回答)

- ・最初の契約が更新時期に差し掛かっており、来年度更新するかを検討している。続けていけるようであれば、貸し付けをして更新してくことになる。
- ・学校の建物を使っているので、目的外使用についての協議をして、今後も学校を貸せるということであれば、教育委員会がその手続きをしていくことになる。何年間かまでははっきりしていないが、更新協議をしている。

(市民からの要望、意見)

もやしの種は鱒ヶ沢で作っているのではないか。小国地区では気候が合わなくて断念した覚えがある。

(市の回答)

- ・そばもやしの種を小国地区で作るかどうかという計画は把握していない。
- ・弘前大学と共同研究という形で始めた事業である。当時は共同研究ということもあり、無料で貸していたが、今は収益事業としていくらか減額はしているものの使用料をいただいている。

○廃校に残っているプールについて

(市民からの要望、意見)

今廃校になったところでプールが残されているのは小国だけではないか。ハエや蚊が多く湧いている。いつ取り壊すのか。あるいは残しておいて魚の養殖等の利用計画があるのか見込みを教えてください。

(市の回答)

- ・養殖などの計画はない。学校として利用されなくなったので、教育財産ではなく普通財産ではあるが、プールを今後どうするかについてまだ一致した見解はなかったのもう少し時間を頂きたい。
- ・プールを残すことによって、蚊の大量発生など地域に害を及ぼすようであれば、検討していきたい。

○農業振興事業について

(市民からの要望、意見)

TPP の議論なども絡んで、今後農業強化の施策が進むと思うが、過去にはわさびを作らせて失敗に終わったような例もある。おそらく販売ルートがなかったのが要因ではないかと思う。なぜ失敗に終わったかをしっかり検証したうえで事業を進めてほしい。

(市の回答)

- ・今まで市として補助してきた事業がすべて成功してきたわけではない。確かに販売ルートが確立されていなかったというのは一つの要因だったかと思う。提案頂いたことを把握しながら進めていきたい。
- ・バイオマス産業都市構想の中では、発電の熱を使ったリーフレタスやトマト、マンゴー

のハウス栽培のほか、フグの養殖なども計画の中では挙がっている。失敗させないために、販売ルート等の検討をしていきたいと思う。

- 津軽の桃に関してはブランド化が成功しつつある。米とりんごの他に高冷地野菜や桃の栽培を通して少しでも雇用の場を増やしていければと思う。二次産業の企業誘致などは難しい面もあるので、農業分野での取り組みを進めていきたいと考えているので、十分にご意見を参考にしていきたい。